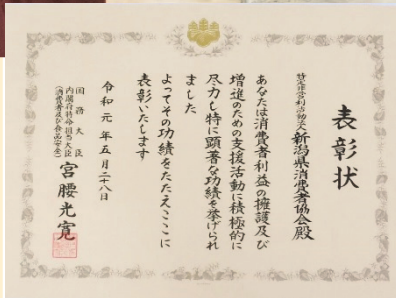




●カラビナとは…… 登山に使われる金属製の輪です。カラビナが登山のロープをしっかりと結び、支えるように、この消費者情報が必要な情報を消費者に、消費者の声を事業者・行政に繋ぐ役目を果たすようにと名付けました。



令和元年度消費者支援功労者表彰「内閣府特命担当大臣表彰」受章



令和元年5月28日、首相官邸で宮腰光寛内閣府特命担当大臣より長谷川かよ子顧問が、表彰状と副賞を授与されました。

新潟県消費者協会は令和元年5月、消費者庁より消費者支援活動に顕著な功績のあった人を表彰する消費者支援功労者の中の「内閣府特命担当大臣表彰」を受賞しました。

日頃協会活動にご尽力いただいている会員および関係者の皆様のおかげと心より感謝申し上げます。

(功労概要)

平成29年「設立50周年記念事業」を実施。平成16年から消費生活サポーターを養成し啓発座に派遣。平成28年度から「食品ロス削減」に取組み、平成29年「自動車運転免許証の返納に関するアンケート調査」を実施。消費生活ネットワーク新潟の一員として、平成28年「地方消費者グループ・フォーラム新潟大会」、平成29年「新潟県消費者安全確保地域協議会」に参画し、消費者被害防止に積極的に関わった。

目次

- 平成31(2019)年度新潟県消費者協会通常総会 報告 2P
● 「令和とともに」 会長 菅井 清美 3P
● お知らせ・報告 令和元年度消費者支援功労者表彰受章 他
● 地区だより「わが団体の健康お元気さん(1)」 4P
● 現場をみせて「株式会社 塚田牛乳」 5P
● ゲノム編集食品 6P
● 食品ロス削減あれこれ
● 消費者トラブルキーワード「その電話! アポ電かも?」 7P
● 作ってみませんか!? 「魚の生干し」
● 交通弱者をサポートする取組 柏崎市「買物お手伝い便」 8P

平成 31 (2019) 年度 新潟県消費者協会通常総会 報告

平成 31 年 4 月 25 日 (木) 新潟ユニゾンプラザにおいて通常総会を開催し、次の 5 つの議案について可決承認されました。(詳細は総会資料をご覧ください)

- 第 1 号議案：平成 30 年度事業実施報告・決算報告及び監査報告について
- 第 2 号議案：特定非営利活動法人新潟県消費者協会定款の一部改正について
- 第 3 号議案：役員報酬と報酬規程の制定について
職務内容の増加に伴い会長に報酬を支払うため役員報酬規程を制定
- 第 4 号議案：役員選任について (右表参照)
- 第 5 号議案：平成 31 年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について

1 新潟県消費者協会事業

- ・消費生活に関する講演会・講習会
- ・自主調査や調査協力
- ・消費者情報「カラビナ」発行 (年 3 回)
- ・ホームページ運営
- ・地域啓発事業 (中越、下越、佐渡)
- ・「消費生活ネットワーク新潟」への参画
- ・行政や関係機関の審議会及び委員会等への参加
- ・電話相談

2 受託事業 (委託者: 新潟県)

- ・消費生活サポーターフォローアップ研修事業及び活動支援事業
- ・消費生活サポーター養成事業
- ・消費生活啓発講座コーディネート事業

重点目標が新しくなりました!

活動テーマ: 魅力ある消費者市民社会に向けて行動しよう!

重点目標: 一人の力が社会を変える。気づいて、つないで、輪を広げよう

退任された役員の皆様、協会の活動にご尽力いただき誠にありがとうございました。

<退任のあいさつ>

感謝の思いを込めて 前会長 長谷川かよ子



平成 21 年に消費者庁が発足してから令和元年が 10 年目、時を同じくし会長に就任してから 10 年、消費者庁と一緒に歩んで来た 10 年間でした。この間、様々な出会いがあり、沢山のことを学ばせていただきました。分からないことは聞き、知らないことは見に行き、おかしいことは正す姿勢で過ごしてきました。

平成 29 年 4 月に実施した「設立 50 周年記念事業」は多くの会員と出会った忘れられない事業となりました。この度、新潟県消費者協会は「内閣府特命担当大臣表彰」をいただきました。これは偏に会員の皆様への賜物と存じます。これからも力を合わせて新しい時代を築いていってほしいと期待しております。長い間、お世話になりました。ありがとうございました。

平成 31 年度新潟県消費者協会役員

会長	菅井 清美
副会長	津野 敏江
	本多 満喜子
常任理事	山崎 和美
	渡辺 あや子
常任理事・事務局長	高杉 陽子
理事	若槻 良宏
	池山 純子
	石畝 剛士
	高木 幸子
	堀井 一雄
	伊藤 幸子
	関 智津子
監事	山岸 洋子
	本間 まゆみ
	山本 初子
	齋藤 ひさ子
	西野 伸治

退任役員

会長	長谷川かよ子
常任理事	遠藤 春枝
理事	五十嵐由利子
	神蔵 勝雄
	吉田 正之
	米山 幸子
	高橋 昌子
	山路 ムツ子
監事	村山 美恵子

<就任のあいさつ>

繋がりを深めて

副会長 本多満喜子



普段は新潟市消費者協会新潟支部の仲間と楽しく活動しています。

さらに交流を広げ、多くの方々と繋がりを深めて学んでいこうと思っています。よろしくお願ひします。

<事務局>

竹内則子さんが退職し、三浦華林さんが入局しました。

通常総会 記念講演会

「新潟県 県民性の歴史と消費生活」

新潟大学 教育・学生支援機構 特任教授 伊藤 充 氏

「新潟県 県民性の歴史」の著者である伊藤氏に、消費生活と県民性についてお話をいただきました。“新潟県人は粘り強く実直で思慮深い、反面、自己宣伝をせず独創性がないといわれている。縄文時代は個性的で自立した文化だったが、弥生時代以降、昭和 22 年の岡田正平知事が誕生するまで歴代の統治者はすべて県外だった…” 人と変わったことはせず、まじめに慎重に実直に従う県民性は、この歴史的な背景が育てたものと納得しました。

“鳥さえ食べない「鳥またぎ」といわれた米や評価の低かった酒が、現在は全国でも有名な産品となったのは、悪条件を克服する粘り強い県民性の賜物だった。負の県民性も自覚的な消費生活をする事で変えることが可能だ” と示唆されました。



令和とともに

この5月に令和と元号が改まり、新潟県消費者協会も新たな幕開けとなりました。近年、地球温暖化や海洋プラスチックごみ問題、食品廃棄物の減量など、持続可能な社会の構築に向け多くの関心が寄せられていますが、こうした問題は消費者一人ひとりの力の結集によってこそ解決に導かれるものといえます。

県消費者協会は設立50周年を迎えることができたものの、社会は経済の高度成長期を過ぎ、少子高齢化時代に入って、消費者協会も会員減少や地域活動の縮小の懸念がみられます。こ

特定非営利活動法人 新潟県消費者協会会長 菅井 清美

うした中では、時代の急速な変化に沿った消費者協会のあり方を早急に考えていかなければならないと思われま

す。消費者協会は会員の皆様方が財産です。新たな幕開けとなった令和では、将来にわたって皆が健康で、心豊かに長生きするための秘策を探り、良い点も悪い点も皆で共有して、より豊かな消費社会を創っていきたいと思っております。皆様のご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。



お知らせ・報告

祝

令和元年度 消費者支援功労者表彰

◆内閣府特命担当大臣表彰

特定非営利活動法人 新潟県消費者協会

◆ベスト消費者サポーター章

柏崎市消費者協会

(功労概要) 市民や会員向けに消費生活講演会を毎年実施。環境問題に取り組むため遊休品販売会を開催し、3Rを広報。市と連携し出前講座で啓発活動を実施。

長岡市消費者協会

(功労概要) 牛乳パック回収、消費者被害防止の啓発講座、学習会、不用品チャリティ即売会・食品ロス削減等の環境問題、視察研修などの取り組み。



ベスト消費者サポーター章メダル

令和元年度 全国消費者協会連合会 功労者表彰

十日町市消費者協会
金井 シゲ子 さん

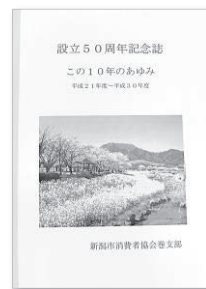
見附市消費者協会
遠藤 春枝 さん

新潟市消費者協会新津支部
高橋 昌子 さん

新潟市消費者協会巻支部 50周年記念講演会 (令和元年6月8日(土)巻ふれあい福祉センター)

はからずも令和元年に巻支部発足50周年を迎え、何か気が引きしめる思いでした。半世紀に渡って活動を続けてきたという自負とこれからの活動をどうやって続けていくか考えたからです。県消費者協会菅井会長の挨拶の中で「活動を楽しみましょう」と言う言葉が印象的でした。考えてみれば、楽しくするためのしかけを考えなければなりません。

記念講演は「フードバンクにいがた」の真木英明氏より「食品ロス削減とフードバンクの活動について」でした。自称「現場主義」とおっしゃる真木さんは、摘果したメロンやスイカの実が畑に取り残されているのを黙って見ていられず、漬物にし再利用・販売するという技をお持ちでした。「もったいない」を「ありがとう」に変える支え合いを根付かせる運動に奔走していらっしゃいました。



NPO 法人消費生活ネットワーク新潟 設立2周年

(令和元年6月8日(土)新潟ユニゾンプラザ) 記念講演会・総会

江花史郎弁護士より、「～成年年齢引き下げを見据えた消費者教育～海外の実践例から考える」と題し、持続可能性に配慮した商品選択を行うなど、主体的で能動的な消費者の育成を念頭に置いた消費者教育が行われているイギリス・ドイツの状況について講演がありました。その後、検討委員会と活動委員会の実践内容が報告されました。

総会では、2019年度中の適格消費者団体認定申請に向けた取り組み方針の説明がありました。(事務局長 高杉陽子)

『イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン』ギフトカード贈呈

今年度も、イオンリテール(株)北陸信越カンパニー新潟事業部様より、各協会の活動資金として34万2,500円分をご寄付いただきました。心より感謝申し上げます。

地区だより

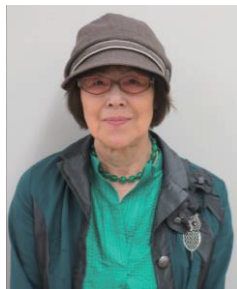
- 新潟県は健康づくりの県民運動「ヘルスプロモーションプロジェクト」を推進しています。そこで、今年は各協会の健康でお元気な会
- 員さんに登場して戴き、日ごろの健康管理や元気の秘訣を伺いまし
- た。17団体を3回にわけてお届けします。(編集委員 小林 諒)

わが団体の健康お元気さん(1)

◆衣食住に心を配り生活すること!

渡辺 節子さん 柏崎市消費者協会

健康維持のため、有料老人ホームで調理の仕事をしている料理上手な渡辺さん。「衣・食・住に心をくばり、生活されている姿」を見習いたいと思います。また、渡辺さんの作る新聞紙のコサージュはとてもステキで協会自慢の手芸品です。皆さんにも機会があればご紹介したいと思います。



◆笑顔で明るく何でも挑戦!

西潟 範子さん 新潟市消費者協会新津支部

長年、県の技術職員として衣・食・住の指導にあたり、退職後はJAの嘱託記者として活躍。今はダンベル体操教室を開き活躍されています。さらに放送大学で健康増進や各国の政治史を学んでおられます。何事にも前向きな性格です。常にチャレンジ精神で日々はつつと活躍し、笑顔で明るく生活されている元気さん、82歳です。



◆元気で欲張り人生!

青木 優さん 長岡市消費者協会

食べものに好き嫌いなし、好奇心旺盛な青木さん。元気の秘訣は諸々あり。短歌に俳句そして詩、さらには書と絵の教室、歌声とおしゃべり会、卓球と踊り・脳筋トレの集い、朗読と歌のボランティア活動。いとまも無いはずなのに、家族のため、自家製野菜で調理をするなど、家事もしっかりこなす人。欲張り人生を楽しんでいます。



◆好き嫌いなく食べ、歩くこと!

氏田 登子さん 新潟市消費者協会白根支部

健康法は、日々おだやかに規則正しい生活をする。食事は三食、好き嫌いなく何でも食べ、果物は毎日食べる。チョコレートと肉が好きで、肉の食べる量は最近減ってきたそうです。

運動は1日25分位散歩をし、月・水・土の週3回卓球に行きます。また、週1回介護施設のボランティアに行くことが健康の秘訣かと思いました。

今年は、育てたシャクナゲが咲いたそうです。

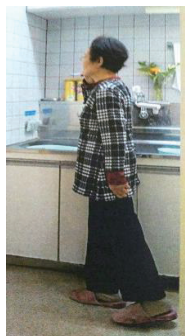


◆ながら体操が効果あり!

吉田 加代子さん 三条市栄消費者協会

ながら体操のひとつ、歯を磨きながら片足立ち、前上げ後ろ上げを1分ずつ行います。時間は校歌や県民歌をハモって歌い、時計代わりに計ります。こんなふうに、一つの事をしながら別の事を行うことで身体が活性化するようだと吉田さん。

健康によいことは即実践、その継続こそが大切と感じました。そんな吉田さんから、大きな声と笑いを添えたエコ料理が届きました。



◆笑顔の裏には秘密あり!

渡邊 徳廣さん 新発田市消費者協会

いつも笑顔で協会の活動を快く助けてくださいます。わが新発田市消費者協会にとって、頼りになる有り難い存在。そんな渡邊さんに、実は秘密が。それは「ゲートボール」です。汗を流しながら、なんだかんだと仲間とのコミュニケーションは、全てをリセットしてくれるようです。生活の中にアクセントをつけ、心と体をリフレッシュ。誰とも笑顔で接し、頼りになる存在です。



《現場を見せて!》

毎日1本 健康をサポートする

株式会社 塚田牛乳

新潟市江南区木津工業団地2番1号
電話 025-385-3911
<https://www.tsukadamilk.com/>

酪農家は高齢化や重労働による後継者不足でその軒数は減少しつつあります。過去には社会現象にもなったバター不足がありました。当協会の団体賛助会員でもある(株)塚田牛乳を訪問し、牛乳の生産を取り巻く様々な問題や、現在取り組んでいる新商品開発等をお聞きました。



愛されて100年

明治34年上越市名立区で操業を開始し、現在工場がある横越地区に移転し約40年。この地区は米作り、果樹栽培、合わせて酪農も盛んです。近郷の酪農家から毎日2回、計 25~30 トンの原乳が搬入され、検査、殺菌し、紙パックやビンに充填します。小中学校への給食、量販店、介護施設、一般家庭等へ供給をしています。

「あずきヨーグルト」や「みるくじゃむ」などの新製品の開発や、親子ケーキ作り教室等で消費者と交流を図るなど、新しい取り組みもされています。



「あずきヨーグルト」あずきの繊維や栄養とビフィズス菌がとれる飲むヨーグルト(宅配のみ)

「みるくじゃむ」“和かふえべじ屋”とコラボし、牛乳・生クリーム・てんさい糖で作った無添加のやさしい味



徹底した品質管理

一番こだわっているのは“安全・安心”。20年前に衛生管理システムであるHACCP認定を受け、すべての行程を監視・記録しています。原乳の受入検査、温度管理、貯蔵タンクの洗浄など、毎日の大変な作業が安全でおいしい牛乳を作っているのです。



愛されるビン牛乳

お客さんから「やっぱりビン牛乳が美味しい」との声があり、県内企業で数少なくなったビン牛乳の宅配を続けているそうです。工場で見えたビン詰作業は、戻ってきたビンのゴミ捨て、洗浄、ビン損傷の確認、ビン詰と手間がかかっており、牛乳生産への真摯な姿勢が伝わりました。



お風呂上がりに最高! 根強い人気、豆からコーヒーを抽出したこだわりの「塚田珈琲」や「フルーツ牛乳」も!

牛乳は“農産物”です

季節によって生産量等が変わる

牛は生き物なので毎日世話をします。暑さに弱いので、暑さが続くと夏バテで搾乳量が減少します。また時季やエサにより成分や風味も少しずつ変わります。



お話を伺った
塚田 正幸 代表取締役社長

体をつくる栄養豊富

牛乳には、人間の成長に必要なカルシウムがたっぷり含まれ、栄養分が豊富。得に、若い人にもっと飲んで欲しい!

取材の感想

対応していただいた塚田社長は「牛乳は農産物です」という言葉をたびたび使われました。人間のために、毎日乳が出るよう飼育されている牛たちへの感謝と労いの言葉も印象的でした。何気なくいつも飲んでいる牛乳ですが、酪農家と企業が、いかに安全でおいしい牛乳を供給していくか、その苦労がよくわかりました。牛乳を原料としたいろいろな製品が開発され、人間の食生活が潤っています。改めて牛さんに感謝です。(編集委員 藤田純子 堀江智恵子)

ゲノム編集食品

遺伝子を効率よく改良できる
「ゲノム編集」を使った食品が、
近いうちに流通するかもしれません！？



ゲノム編集食品とは

自身の遺伝子を改変する「ゲノム編集」という技術を使った食品のことです。味や栄養などを自在に変えることができる技術です。

安全性の審査はなく届け出のみ

もともと持っている遺伝子を変更するゲノム編集は、自然に起こる突然変異などを見分けがつかないため、改良した遺伝子などの情報を厚生労働省に届け出れば、安全性の審査を受けず食品を販売できます。

従来の遺伝子組み換え食品は、他の生物の遺伝子を持ってきて組込むので、安全性の審査があります。今後、ゲノム編集食品でも他の生物の遺伝子を挿入する手法が加えられれば、審査を行う方針です。

表示の義務化などについては、消費者庁などが協議しています。

メリットもあるが安全性は？

消費者にメリットの大きい品種が短期間で簡単に開発できるゲノム編集技術。一方、目的の遺伝子以外で、予期せぬ改変が起こる可能性など安全性が問題視されています。

近いうちに日本で流通が始まる可能性もありますが、安全性やゲノム編集食品である表示の有無など、今後の動向に注意が必要です。

(編集委員 中村文子)



栄養価の高いトマト



筋肉量の多い魚



収量の多い米

食品ロス削減あれこれ

セール 賞味期限切れ専門店！

賞味期限切れの食品も売る店は東京にもありますが、大阪に、賞味期限切れや賞味期限間近の食品だけを扱う専門店がオープンしました。

食品ロス削減のために、いろいろな取組みができていますので、いくつか紹介します。あなたは賞味期限切れ食品を買いますか？
(編集委員 中村文子)

インターネットを利用したフードシェア

食品ロスを活用した“フードシェアリングサービス”があります。賞味期限の近づいた食品を売るサイト、登録した飲食店が売れ残り品をネットにあげ、客は電子決済で買い店に行くサイトなどがあります。

賞味期限切れの食品を販売しても、法律上問題はないそうです。メーカーは、安全に食べられる日数を設定し、その日数0.7~0.8をかけて賞味期限としています。



はっ水・はっ油機能のあるフィルムを使用したパッケージ

ヨーグルトのフタ材裏面に、ヨーグルトが付着しないと思いませんか？これは、蓮の葉が水をはじく構造にヒントを得た加工がされています。

同じ様な構造をパッケージで利用すると、食品が容器に付着せず、すべて絞り出せるのでフードロス削減になります。レトルトカレーの容器から、中味を出す時を想像してみると、スルッとカレーがでたら気持ちよく“もったいない”もなくなります。



酸素バリア性の高いフィルムを使ったパッケージ

酸素による食品の劣化が抑制され、保存可能期間が長くなるので、廃棄する食品が減ります。



会員募集中

新潟県消費者協会では、会員を募集しています。会員には、当協会発行の消費者情報「カラビナ」、各種講演会等のご案内、消費生活に関する情報をお届けします。お近くの地区の消費者協会のご紹介もいたします。

※入会を希望の方は、新潟県消費者協会事務局までご連絡ください (Tel025-281-5558)

- 団体賛助会費 一口5000円(2口以上)
- 個人賛助会費 2300円

消費者トラブルキーワード

「その電話！アポ電話かも？」

アポ電とは？

アポ電（アポイント電話）とは、詐欺が可能かどうかをチェックする電話のことです。

例えば、警察や実在する銀行、家族をかたり、関係のない話をして警戒心を緩めつつ、家族構成や資産状況などを聞きだしたり、所在確認や、家に置いてあるお金の額などを聞き出したりします。

凶悪化している！

家には高齢者しかいない、家に多額の現金があるとわかってしまえば、家に押しかけ強盗に入られてしまう可能性があります。

アポ電の後に強盗に入られた事件や、手足を縛られて死亡しているのが発見された事件の報道は、今や「だまされない」だけでなく「命をどう守るか」の問題となっています。



電話が鳴ったらアポ電を疑う！

電話の相手が信頼できるかはわかりません。アポ電を見破ることはできないと考え、見知らぬ番号からの電話には出ないようにしましょう！

<対策>

- ① ナンバーディスプレイ機能を活用し、家族、親戚、知人の番号は登録しておく
- ② 留守電機能を活用する
- ③ 自動通話録音機を設置する

もし、電話に出てしまったとき「資産」・「家族構成」など聞かれたら、すぐに電話を切りましょう！

作って みませんか！



塩水につける



干し網に並べ干す

魚の生干し

魚は、新鮮なものならなんでもできます。生干しにすると2～3日は保存が効きます。新鮮な魚が安く手に入ったときなどにまとめて作っておくと重宝します。柔らかくやさしい味です。



完成した生干し

<材料> さば、さんま、あじ、いわしなど新鮮なもの 塩適量

<作り方>

- 1 魚は開き、2枚おろしなど好みのサイズにする。頭を残したい場合は頭を割る。（買って来た切り身でも可）
- 2 流水できれいに洗い、魚がかぶるくらいの塩水（塩分濃度は好みで5～15%）に30分～1時間漬け、キッチンペーパーで水気を拭き取る（写真左上段）。
- 3 干し網（※干し網がないときはグリルやオーブンの調理網で代用できる）に重ならないように、皮側を下にして並べる（写真左下段）。直射日光が当たらない風通しのよいベランダなど、上からつるすことができる日陰の場所で2時間から半日干す。
- 4 食べきれないときはラップに包んで冷蔵庫で保管する。

（編集委員 山本ヒサ）

編集後記 県協会が消費者庁から消費者支援功労者表彰で内閣府特命担当大臣表彰を受賞しました。これは県のみならず各支部の活動が評価されたことでもあります。このことに力を得て活動が一層充実することを期待するとともに、カラビナも受賞に恥じないよう緊張感をもって皆様のお役に立つ有意義なものにしていきたいと思ひます。 （編集委員 山本ヒサ）

《交通弱者をサポートする取組》

路線バスに乗って、高齢者の皆さんのお出かけをお手伝い

柏崎市「買物お手伝い便」

【連絡先】 柏崎市総合企画部企画政策課 TEL 0257-21-2321
公益社団法人柏崎市シルバー人材センター
TEL 0257-24-2148

今回は第2弾です。柏崎市では、路線バスを利用する高齢者の乗降や買い物に介助する制度を、今年の4月から既存の路線で全8回試験運行します。2回目の実施となる5/16(木)に市の担当者やボランティアさんに取材させていただきました。

(編集委員 山本ヒサ 小林 諒)

「買物お手伝い便」制度ができた背景と目的

高齢や地域で商店がなくなり買い物に困っている方を支援するサービスとして、柏崎市シルバー人材センターは国の補助事業で平成26年度から平成28年度、「買い物代行」「買い物行かんかね?バス(無料)ツアー」を実施し、29・30年度は、独自で貸し切りバスを定期的に運行しました。そして、今年度は柏崎市シルバー人材センター、柏崎市、越後交通との共同事業で、「買物お手伝い便」の試験運行が4/18(木)を初回として行われることになりました。

「買物お手伝い便」とは

内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センターのボランティアがスタッフとしてバスに乗車し、高齢者のバスの乗降のサポートや、買い物の付き添い、お手伝いをします。 ・事前申込は不要で、最寄りのバス停から乗車します。 		
対象路線バスと区間	「柏崎駅前～谷根線」のうち、9:25 谷根発～東本町1丁目までと、12:44 東本町1丁目発～谷根終点まで		
料 金	バス乗車運賃のみ	対 象 者	高齢者の方
実 施 日	全8回 第3木曜日 (4/18、5/16、6/20、9/19、10/17、11/21、12/29、3/19)		

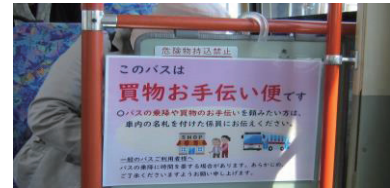
取材した日の乗車人数は谷根発が22人、東本町1丁目発が5人とボランティア4人です。今回は買い物のお手伝い希望者はいませんでした。



谷根から到着したボランティアの皆さん
右端がリーダーの中村文威さん



降車時の見守り



制度のポスター



柏崎市企画政策課 田邊正樹さん



踏み台

今後のこと(担当者 田邊正樹さん)

1年間運行してこの制度の利用者を増やすことが、バスの利用促進と市街地活性化、高齢者の外出機会の創出、買い物支援につながるため、まずは認知度を高めていきたいと言われました。10月からは65才以上の人はバス料金が半額になり一層の利用促進を図っていききたいとのこと。サポートがあるので運行時間を守ることに貢献しています。

ーボランティアさんの1日ー

当日のボランティアは4人。朝9:25発に間に合うようリーダーが3人を乗せ谷根で自家用車を駐車。

- 9:25・谷根発バスに乗り、ポスターを車内に掲示したり手に持って乗客に制度の周知を図ります。
- 運行時は、高齢者の安全確認や途中の停留所で降りる人もサポートします。
- 初回では依頼されて、途中下車した高齢者を歯医者を受付まで付き添ったそうです。
- 10:07 東本町1丁目着
- ・買い物のお手伝い希望者がいればサポートします。
- 12:44 東本町1丁目発
- ・停留所で待機し、乗車のお手伝いが必要であればサポートします。
- ・91才の女性が下車するときに、ボランティアの方が踏み台をさり気なくバスのステップの下に置きました。
- 13:21 谷根着

終点まで行って、自家用車で帰り、結果を市の担当者に報告します。1日がかりの無償ボランティアです。

<取材の感想>大型商業施設閉店後の地域活性化、運転免許証返納に伴う買い物や通院難民など高齢者の生活支援の対応が待ったなしで迫っています。柏崎市のように行政だけでなく、地域の事業者や住民が協力して新たな取り組みが求められていると思いました。ボランティアの方たちも田邊さんと同じ思いで取り組まれています。